

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2160 号

Exploration of the effect of restoration of masticatory function using immediate dental loading implant and the potential rule in anti-aging medicine

歯科即時荷重インプラントによる咀嚼機能の回復がもたらす影響と抗加齢医療に果たす役割の探求

小関 結里 (こせき ゆり)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、歯科即時荷重インプラント術を応用した咀嚼機能の回復前・後の脳波の変化を始めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。また、唾液中のストレスホルモン、肌状態にも着目し生理的機能変化を評価した論文である。

近年、咀嚼する事の重要性は認知されてきた。咀嚼は単なる食物の摂取や消化だけにとどまらず、全身の健康増進に寄与していることが明らかにされてきている中で、咀嚼機能回復前後の生理的機能への影響を標準的な計測法を利用し具体的に解析・比較する事を実現した。患者の協力を得て、咀嚼機能は心身に健康をもたらし、見た目の若々しさや認知機能低下予防に繋がる可能性を証明する事で、抗加齢医療に貢献する可能性が示唆される。2013年の日本の高齢化率は 25.9%と過去最高を更新しており、少子高齢化が進む日本において、認知症予防が重要な国民的課題となってきた。本研究を通して、咀嚼機能を失わないよう予防治療の普及を促すことが見込まれ、健康寿命の延長に繋がると言える。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。